

JIP2010における産業連関表データの推計方法の変更点

JIP2010 産業連関表データの推計において、以下の各点について変更を行った。

1. 最新の総務省 1995-2000-2005 接続産業連関表を利用。それにともない、2000 年以降の産出額（政府・非営利）・投入額（全部門）の推計値が変更となっている。
2. コントロール・トータルとして利用している SNA の産出額・投入額の変更。
JIP2009 では、1996 年～2006 年については、H18 年 SNA 確報値、1980 年～1996 年については、H15 年 SNA 確報値、1970 年～1980 年については、68SNA の長期遡及データ（H10 年）を利用していた。
今回は、1980 年までの長期遡及を含む平成 20 年度国民経済計算の系列（2000 年基準、固定基準年方式）を、1980 年以前に関する平成 10 年度国民経済計算の長期遡及系列（1990 年基準、68SNA）と 1980 年でリンクすることで、コントロール・トータルを作成した。
3. 産業連関表のバランス調整方法を KEO-RAS 方式から RAS 方式に変更。
これに伴い、マイナス値の取り扱いを変更。バランス調整前の初期値がマイナスのセルはゼロにおきかえて、バランス調整を行った。最終需要の固定資本形成と在庫については、合計値を RAS 法で推計し、初期値の比率で案分している。
4. JIP74：道路運送業と JIP77：その他運輸業・梱包の定義変更
JIP2009 までは道路運送業に含まれていた「道路輸送施設提供」を JIP77：その他運輸業・梱包に移動した。そのため、JIP74：道路運送業は、JIP2009 と比べ、全体的に産出額・投入額が小さく、JIP77：その他運輸業・梱包は、全体的に産出額・投入額が大きくなっている。